

2023年2月14日

各 位

上場会社名 原田工業株式会社
代表者 代表取締役社長 三宅 康晴
(コード番号 6904 東証プライム)
問合せ先責任者 執行役員 上條 洋一
(TEL 03-3765-4321)

業績予想及び配当予想の修正、 並びに営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を修正いたしました。また、2023年3月期 第3四半期累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）において、営業外費用（為替差損）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期 通期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 40,000 | 百万円 200 | 百万円 100 | 百万円 70 | 円 銭 3.22 |
| 今回修正予想 (B) | 40,000 | △700 | △850 | △1,300 | △59.77 |
| 増減額 (B-A) | 0 | △900 | △950 | △1,370 | — |
| 増減率 (%) | 0 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) | 35,811 | △1,163 | △951 | △1,105 | △50.83 |

(2) 業績予想修正の理由

売上高は、世界的な半導体不足による生産調整等の影響により非常に厳しい経営環境となりましたが、従前からの拡販活動を強化・継続することはもとより、取引先への納品が遅滞することのないようあらゆる手段を講じて対策を行いました結果、前回予想どおりの見通しとなりました。

利益面につきましては、事業活動に係る全てのコストに関する抜本的な構造の改革を推進し、車載アンテナビジネスの収益力向上に取り組んでいるものの、銅をはじめとした材料費の高騰や原油価格の高止まり等による輸送費高騰の影響が極めて大きいことに加え、中国における都市封鎖を含めた新型コロナウイルス感染症対応の影響（物流遮断等による売上減少、工場稼働率の大幅な低下、従業員の宿泊費用や設備を伴う生産移管費用に加え、取引先への納品遅延をできる限り防止するための追加の輸送費用等）が大きく生じております。更にこれまで主に陸海上による輸送を行っていましたが、サプライチェーンの混乱により、航空機による輸送に変更し想定外の

輸送費用等が発生している状況等を鑑み、前回予想を下回ると予想し、上記のとおり修正いたしました。

なお、2024年3月期については、既に開示しております財務体質改善に向けた当社及び当社連結子会社における固定資産の譲渡等をはじめとした各種施策を進めており、収益性及び財務体質は大きく改善する見込みであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 2023年3月期 配当予想の修正

| | 年間配当金 | | |
|------------------------|--------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (2022年5月13日発表) | | 7円50銭 | 7円50銭 |
| 今回修正予想 | | 5円00銭 | 5円00銭 |
| 当期実績 | 0円00銭 | | |
| 前期実績 (2022年3月期) | 0円00銭 | 5円00銭 | 5円00銭 |

(2) 配当予想修正の理由

2023年3月期の期末配当予想につきましては、当社の安定配当の方針や通期連結業績予想の修正、また財務体質改善に向けた当社及び当社連結子会社における固定資産の譲渡等をはじめとした各種施策による収益性及び財務体質の改善等を総合的に勘案し、上記のとおり修正いたしました。

本件につきましては、2023年6月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

3. 営業外費用（為替差損）の計上について

当社は、2023年3月期第3四半期連結会計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）において、昨今の為替相場の変動により、為替差損125百万円を営業外費用に計上いたしました。これは主に、当社及び当社連結子会社が保有する債権債務の期末為替レートでの評価替えによるものであります。

4. 株主優待制度について

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝し、株主還元方法を多様化するとともに、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

2022年11月11日にも開示のとおり、本年度の株主優待も従来と同様に実施いたします。

(注) 本資料に記載の予想値は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上